

動物実験に関する検証結果報告書

（日本歯科大学 生命歯学部）

動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 23 年 12 月

平成 23 年 12 月 5 日

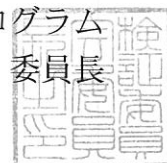
日本歯科大学
生命歯学部
学長 中原 泉 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会

動物実験に関する相互検証プログラム

検証委員会 委員長



対象機関：日本歯科大学 生命歯学部
申請年月日：平成 23 年 6 月 28 日
訪問調査年月日：平成 23 年 10 月 14 日
調査員：三浦 竜一（東京大学）
篠田 元扶（独協医科大学）

検証の総評

都心に位置する日本歯科大学は、歯学教育・研究に特化した大学であり、生命歯学部をその中核とする。動物実験は当該学部の研究活動と学生実習で行われる。

文部科学省の基本指針に適合した学内規程を定め、動物実験委員会では機能的な活動が行われている。優れた飼養保管施設と維持管理体制を備え、良好な環境が提供されている。教育講習時に、防災教育・訓練も同時に行うことは特筆すべき点である。自己点検・評価のみならず、外部の有識者による検証も平成 18 年度から実施され、評価結果を含めた詳細な関連情報を出版物により公開している。

比較的小規模で目が届き把握しやすい利点を持つものの、動物実験の適正な実施に対

して大学の意識は当初より高く、実際の取り組みに反映させていることは、高く評価できる。改善すべき点を特に見出すことはできず、すべての点で非常に優れている。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
平成3年に制定され改正を重ねた「動物の愛護と管理に関する規程」は基本指針に適合している。よって、機関内規程の整備状況に関する自己点検・評価結果は妥当であると判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
学内で唯一の動物実験委員会は、動物実験等に関して優れた識見を有する者、実験動物に関して優れた識見を有する者、その他の学識経験を有する者それぞれを委員とする合計12名により構成される。動物実験計画書の審査は審査要領により各委員が迅速に行い、審査結果を的確に集約する体制も整っている。よって、動物実験委員会は基本指針に適合し、その整備状況に関する自己点検・評価は妥当であると判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

審査要領の位置付けがわかりにくいので、学内規程等で明確にすることが望ましい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験の実施に関わる学内組織の連携や協力体制、実施者や管理者の役割や責務等は明確である。基本指針に則した動物実験計画書や履行結果報告書、自己点検報告書等の各種様式が揃えられ、動物実験の実施状況を容易に把握できる体制が整えられている。よって、動物実験の実施体制に関する自己点検・評価は妥当であると判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

遺伝子組換え実験、病原体使用実験、アイソトープ使用実験等に関わる学内規則やマニュアル、生物科学施設利用マニュアル、災害対応マニュアル等を定めるほかに、安全管理に関わる委員会や組織と動物実験委員会を併任する委員が数名おり、互いの情報を共有する体制が整えられている。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制が整備され、自己点検・評価は妥当であると判断する。

<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>主たる飼養保管施設である生物科学施設は、ハード面ソフト面ともに優れた維持管理体制の下で運営されている。施設には専任の実験動物管理者と複数の飼養保管従事者を配置し、動物実験従事者に対して適切な助言や指導がなされる体制にある。よって、実験動物の飼養保管の体制に関する自己点検・評価は妥当であると判断する。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>学生実習で実施する動物実験に関する学内規則も定めている。動物実験の初心者である学部学生に対して動物実験の科学的な重要性とともに、動物の愛護と管理の重要性を教育訓練する体制を整え実践している。</p> <p>魚類や両生類を用いる動物実験計画については、届出により動物実験委員会が把握している。</p>
--

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員会は、定期に開催される委員会と動物実験計画書の持ち回り審査を主な活動としている。議事録や審査結果等から、両方の活動とも機能的で適正に行われていることが認められた。よって、動物実験委員会の活動に関する自己点検・評価は妥当な内容と判断する。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員会と実験動物管理者は個々の動物実験計画の内容を十分に把握し、動物実験は適切な助言と指導の下に実施されている。動物実験履行結果報告書と動物実験責任者自己点検報告書の提出は100%であり、終了並びに継続中の研究が適正に実施されていることを把握できていた。よって、動物実験の実施状況に関する自己点検・評価は妥当な内容と判断する。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
安全管理上問題となる事例や重大な事故報告はなく、安全に動物実験が実施されていた。安全管理に関わる他の委員会や組織との協力と連携が認められる。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況に関する自己点検・評価は妥当な内容と判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
実験動物の飼養と管理は、施設職員の補助の下で実験実施者により適正に行われている。長期飼養する動物室では、定期的な微生物モニタリング検査により清浄度が維持されていた。よって、実験動物の飼養保管状況に関する自己点検・評価は妥当な内容と判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
クリーンゾーンや感染実験ゾーン、実習室等の各種施設はそれぞれ明確に分けられ、その用途に応じた適切な維持管理がなされている。施設職員は平日毎日施設内を定期的を確認し、昨年度特に異常は発見されていない。また、飼育機器や空調機器等も定期的に検査や点検が行われ、不具合が発生した場合に適正に修理されている。こうした維持管理に関わる記録は整理保管されていた。よって、施設の維持管理状況に関する自己点検・評価は妥当な内容と判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
実習で受講する学部学生を除き、新規の動物実験従事者に対して動物実験講習会が随時開催されている。講習会では、同時に防災教育と訓練も実施される。飼養保管施設が閉鎖された特殊な空間であることを考えれば、施設内で被災した場合の具体的な対応を知っておくことは極めて重要である。教育プログラムに以前から取り入れてあることを特に評価したい。その他、施設職員には外部での実技講習会等へ参加する機会が設けられている。よって、教育訓練の実施状況に関して、自己点検・評価は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

動物実験継続実施者を対象とした再教育訓練を、初回受講後定期的に実施することが望ましい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 18 年度から自己点検・評価だけでなく、他機関の有識者 2 名による外部検証も独自に実施している。こうした評価結果とともに、動物実験の実施状況と実験動物の飼養保管状況に関わる 17 項目について、詳細な情報を出版物により公開している。

機関の自己点検・評価で指摘する改善すべき点を見出せず、実施された自己点検評価、外部検証及び情報公開は、基本指針に適合し適正に実施されていると判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

基本指針に適合した動物実験を実施する機関であることを、時期をみて大学のホームページ等でも公開することが望ましい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

該当なし。